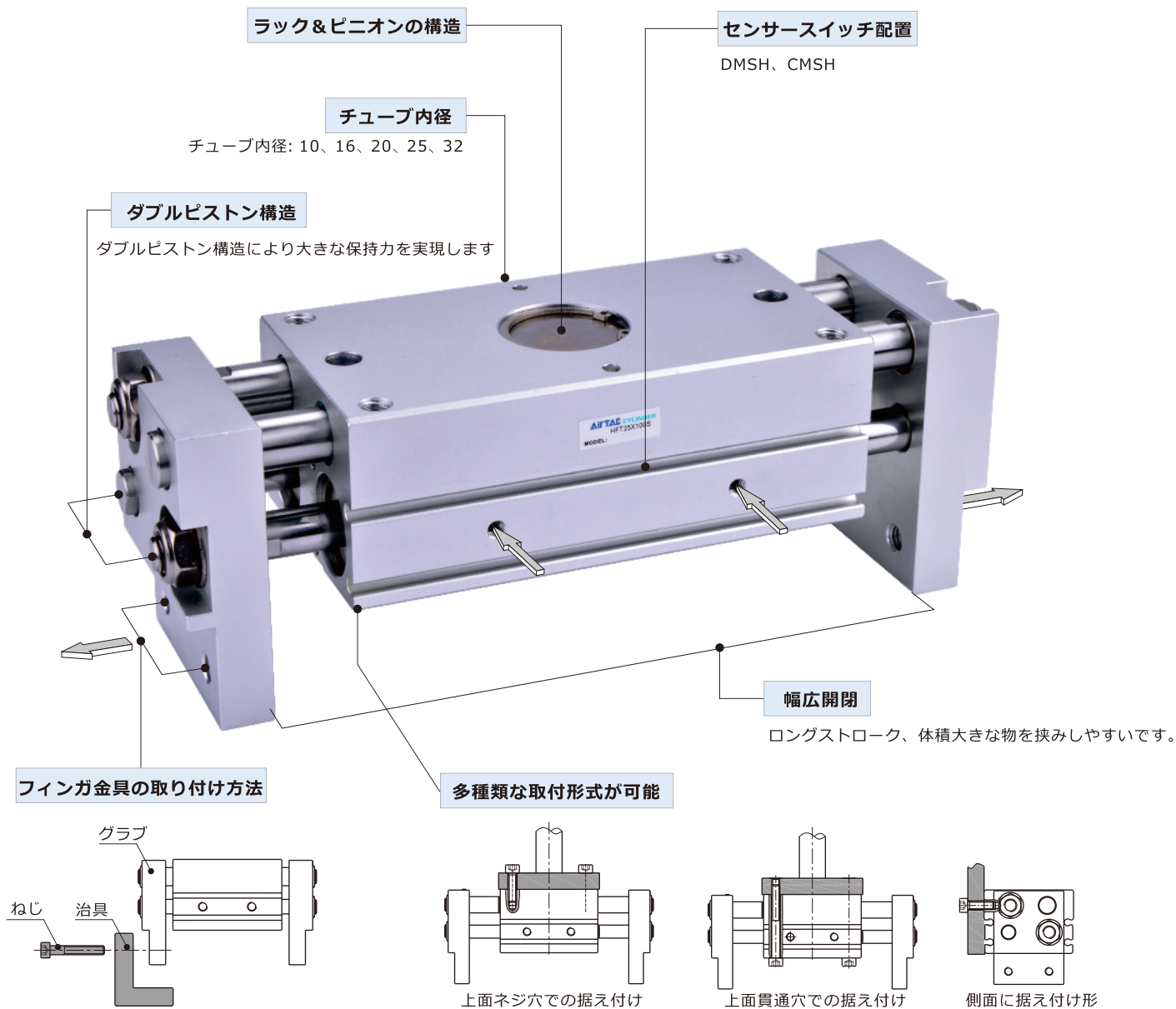


製品シリーズ

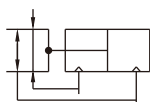


エアハンド(平行開閉形--幅広タイプ)

HFTシリーズ



記号



特長

- 1.ロングストローク、体積大きな工作物を挟みしやすいです。
- 2.ダブルピストン構造により大きな保持力を実現します。
- 3.ラックとピニオンを使用します為、ハンドが同時開閉、繰返し精度向上。
- 4.全シリーズ磁石付、コントロールに便利。

仕様

シリンダ内径(mm)	10	16	20	25	32
作動方式	複動形				
使用流体	空気(40μm以上のフィルタにて濾過した空気をご使用ください)				
使用圧力範囲	0.25~0.7MPa(36~100psi)		0.15~0.7MPa(22~100psi)		
保証耐圧力	1.2MPa(175psi)				
周囲及び使用流体温度	-20~70℃				
給油	不要				
クッション	ラバークッション				
繰り返し精度	±0.1mm				
把持力 (N) [1]	14	45	74	131	228
最高使用頻度	40(c.p.m)				20(c.p.m)
配管接続口径 [2]	M5×0.8				1/8"

圧力0.5MPa時、挟む距離は40mm(Φ10~Φ25)或いは80mm(Φ32)。

[2] ポートねじはPT種類も選択可能。

另: センサースイッチの詳細はP388をご参照ください。

ストローク

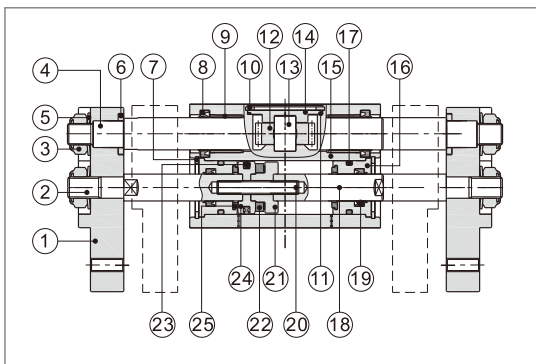
内径(mm)	標準ストローク(mm)	最長ストローク(mm)
10	20 30 40 60	60
16	30 40 60 80	80
20	40 60 80 100	100
25	40 60 80 100	100
32	60 80 100 150	150

注: 特注品は弊社にご連絡ください。

注文記号

HFT 10 × 20 S □				
①仕様	②チューブ内径	③ストローク	④磁石	⑤ポートネジの種類
HFT: 幅広タイプ エアハンド (複動形)	10	20 30 40 60	S: 磁石付	无此代口 空白: PT
	16	30 40 60 80		
	20	40 60 80 100		
	25	40 60 80 100		
	32	60 80 100 150		

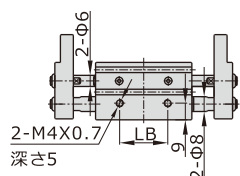
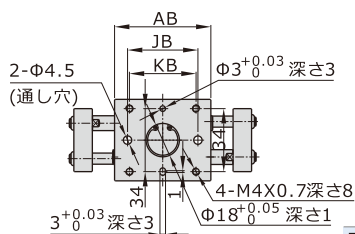
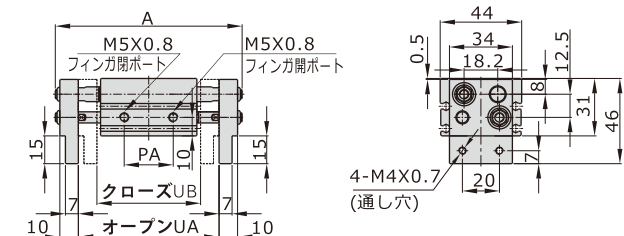
内部構造及び材質



番号	品名	材質	番号	品名	材質
1	画面	アルミニウム合金	14	ピニオンカバー	快削鋼
2	ピストンロッドA	ステンレス鋼	15	本体	アルミニウム合金
3	防松螺帽	合金口	16	ロッドカバー	アルミニウム合金
4	ブッシュ	ステンレス鋼	17	Oリング	NBR
5	パッキン	ばね鋼	18	ピストンロッドB	ステンレス鋼
6	ガスケット	快削鋼	19	軸シール	NBR
7	C形スナップリング	ばね鋼	20	接続ネジ	ステンレス鋼
8	ダストリング	TPU	21	磁石座	黄銅/アルミニウム合金
9	DU干口承	低炭口+复合材料	22	磁石	焼結物
10	C形スナップリング	ばね鋼	23	ピストンOリング	NBR
11	Oリング	NBR	24	ウェアリング	黄銅/アルミニウム合金
12	歯車	クロムモリブデン鋼	25	ラバークッション	TPU
13	ピニオン軸	ベアリング鋼			

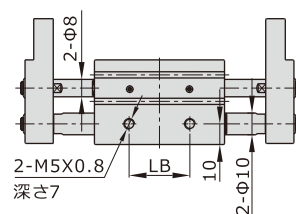
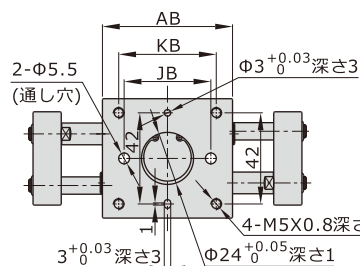
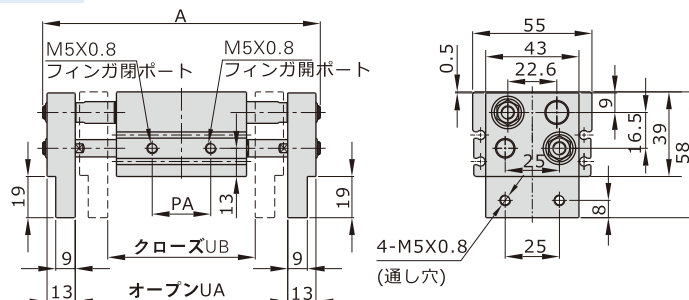
外形寸法図

HFT10



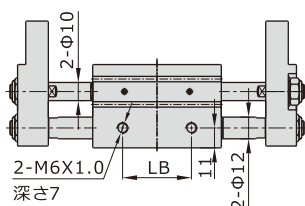
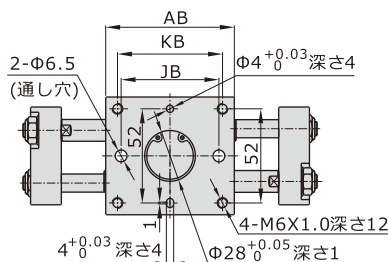
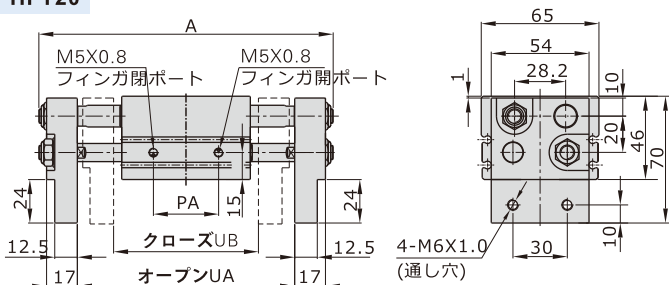
ストローク 記号	20	30	40	60
A	101	121	141	181
AB	52	60	68	86
JB	38	46	54	72
KB	36	44	52	70
LB	26	34	42	60
PA	23	30	35	45
UA	76	96	116	156
UB	56	66	76	96

HFT16



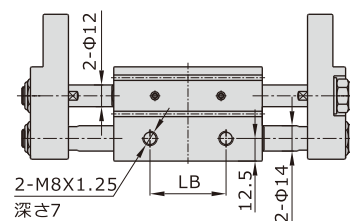
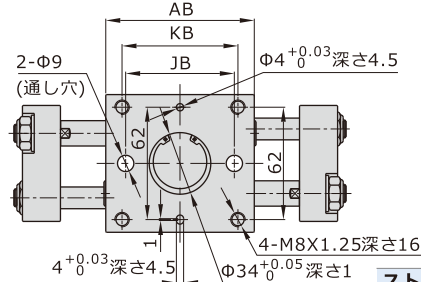
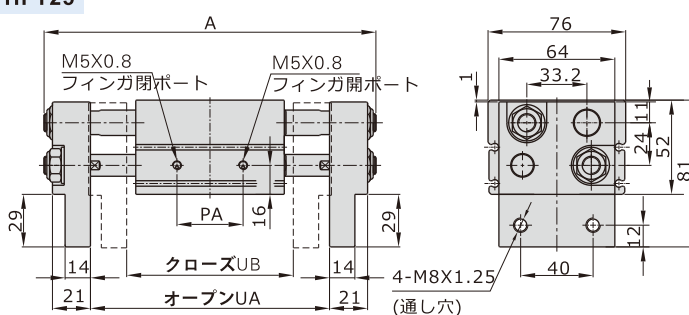
ストローク 記号	30	40	60	80
A	128	148	194	234
AB	60	70	90	110
JB	40	50	70	90
KB	45	55	75	95
LB	28	38	58	78
PA	29	34	44	54
UA	98	118	164	204
UB	68	78	104	124

HFT20



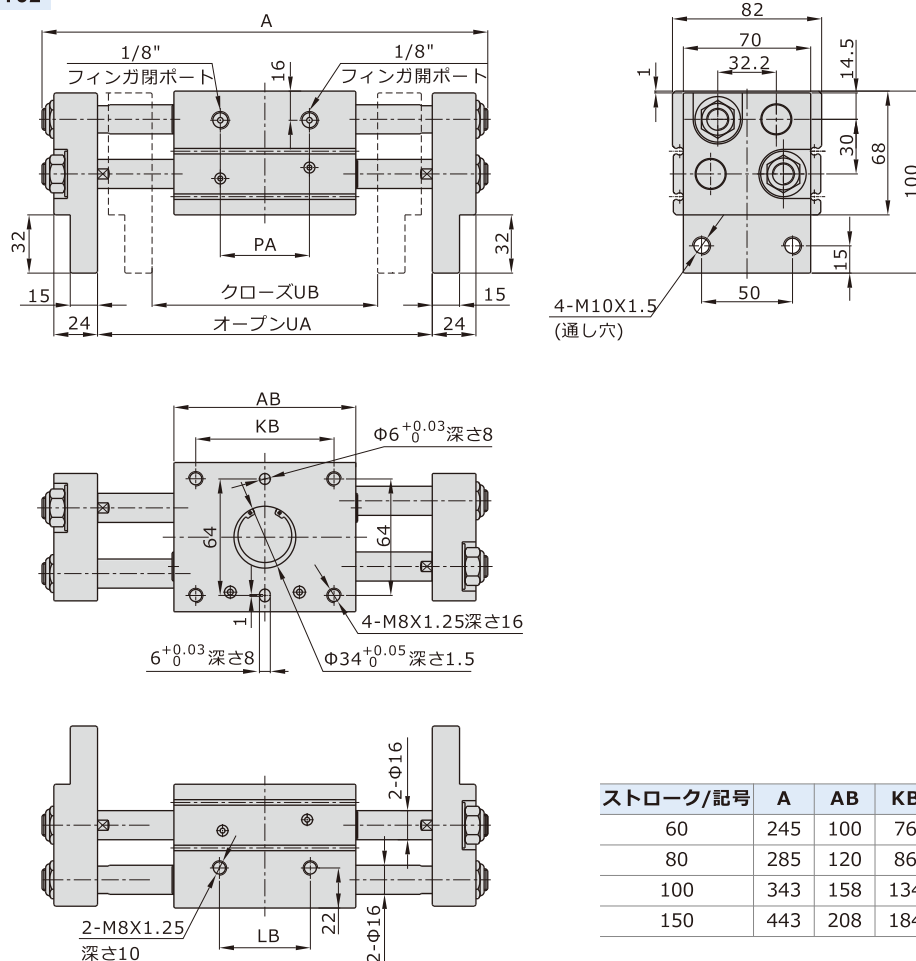
ストローク 記号	40	60	80	100
A	163	203	255	295
AB	71	91	113	133
JB	54	74	96	116
KB	58	78	100	120
LB	38	58	80	100
PA	36	46	56	66
UA	120	160	212	252
UB	80	100	132	152

HFT25



ストローク 記号	40	60	80	100
A	183	223	277	317
AB	82	102	122	142
JB	56	66	100	120
KB	60	70	104	124
LB	38	48	82	102
PA	36.5	46.5	56.5	66.5
UA	132	172	226	266
UB	92	112	146	166

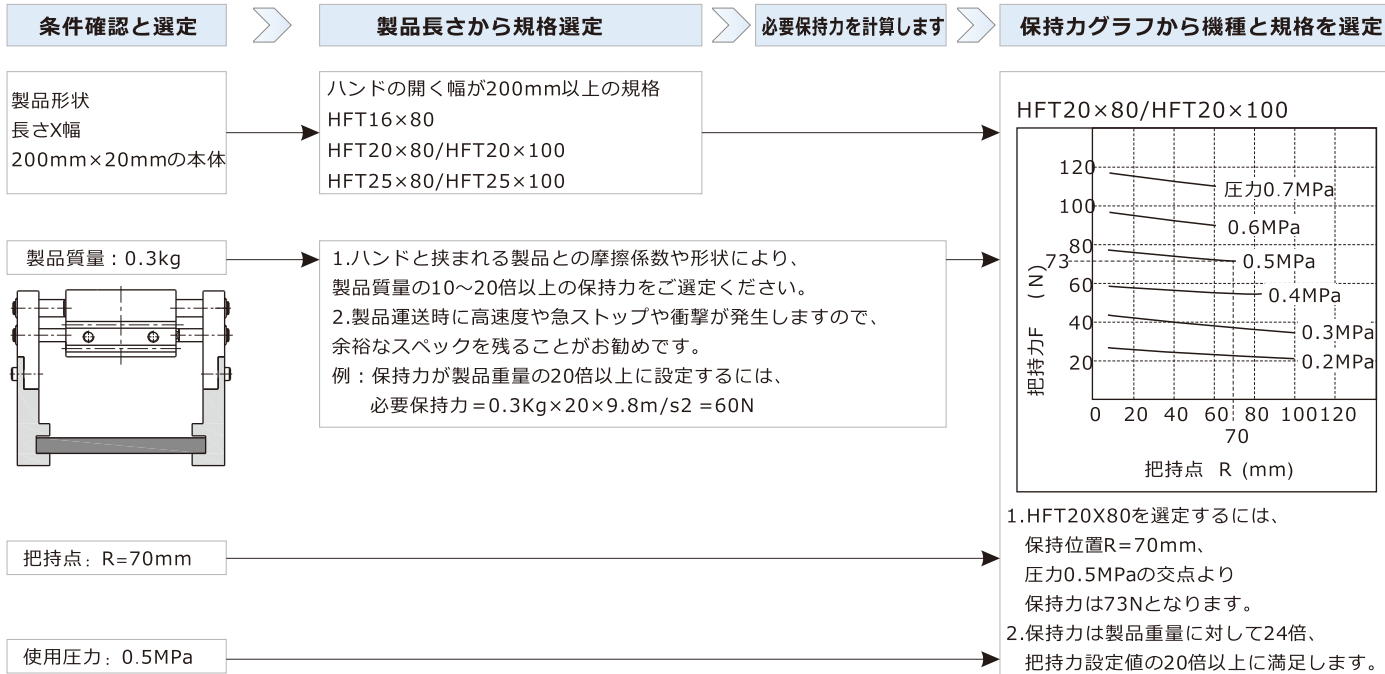
HFT32



ストローク/記号	A	AB	KB	LB	PA	UA	UB
60	245	100	76	50	48	184	124
80	285	120	86	60	58	224	144
100	343	158	134	108	68	282	182
150	443	208	184	158	93	382	232

製品の選定について

1. 下記の流れに基づいて、エアハンドを選定してください。



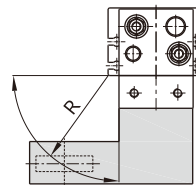
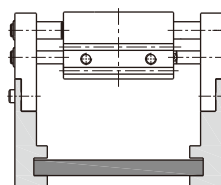
HFTシリーズ

2. 把持点

2.1、把持点距離Rが必ず実効把持力グラフの各圧力別に示される把持力線図内でご使用ください。

もし製品の把持点が線図に示される長さより長いところでご使用するとハンドと製品が落ちることが発生、寿命に悪影響を及ぼす原因となります。

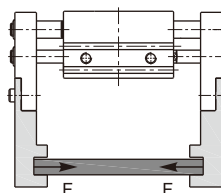
2.2、アタッチメントに対してはできるだけ軽く短く設計することをお勧めです。もしアタッチメントの長さや荷重が過大による開閉時の慣性力増大、たとえ把持力線図内でご使用しても寿命に悪影響を及ぼす原因となります。



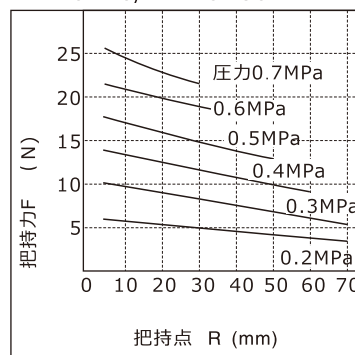
R : 挟む点距離(mm)

3. 把持力

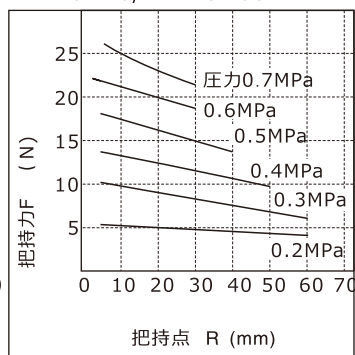
実際把持力は下表でのさまざまな仕様の実効把持力の範囲内になるようにご使用ください。選定した機種は製品の重さに対する余裕量。



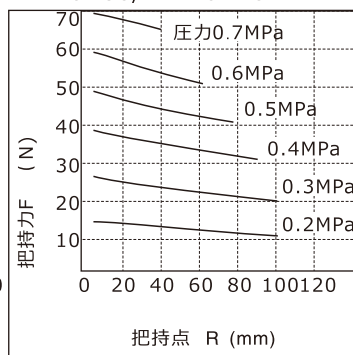
HFT10×20/HFT10×30



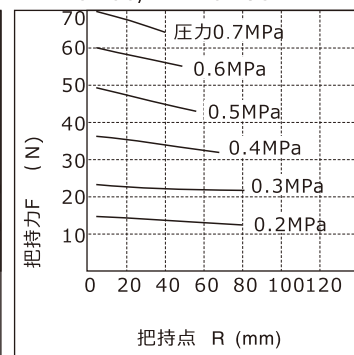
HFT10×40/HFT10×60



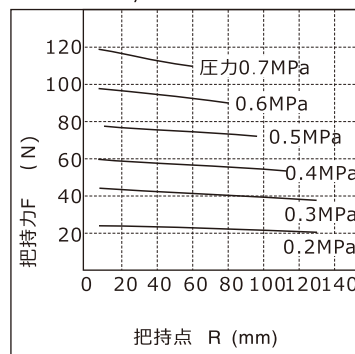
HFT16×30/HFT16×40



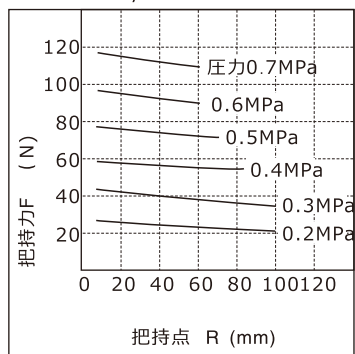
HFT16×60/HFT16×80



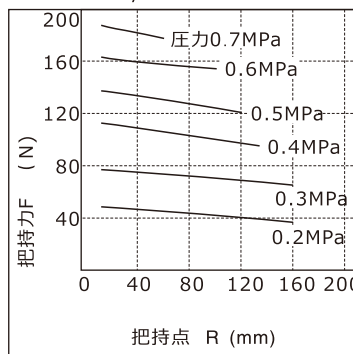
HFT20×40/HFT20×60



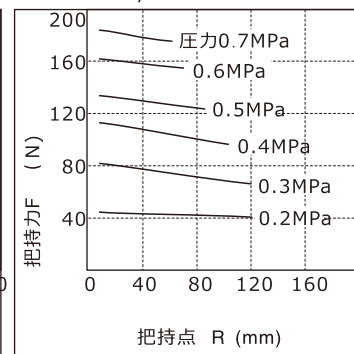
HFT20×80/HFT20×100



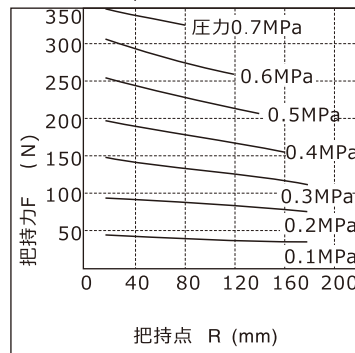
HFT25×40/HFT25×60



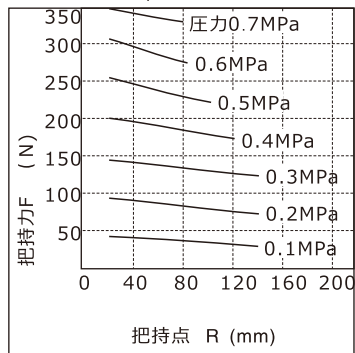
HFT25×80/HFT25×100



HFT32×60/HFT32×80



HFT32×100/HFT32×150



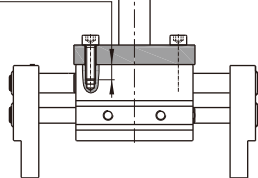
エアハンド(平行開閉形--幅広タイプ)

HFTシリーズ

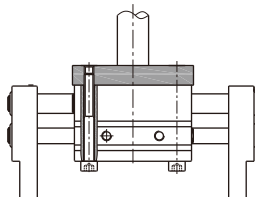
取付と使用

1. 万一空気圧回路の圧力を低下した場合、把持力が減ったことによりワークが落下します。人体の傷害或は設備の破損を防止するために、落下防止装置を設置してください。
2. 大き過ぎる加速度や衝撃が作用する場合には、エアハンドを使わないでください。
3. エアハンドを取り付け、固定する場合、エアハンドを落下させたり、ぶつけたりして傷を付けないようにお願いします。
4. フィンガ金具を固定する場合に、フィンガを必ず曲げないようにしてください。
5. フィンガは幾つか取り付け方法があり、下記の最大締付トルク範囲以内に締め付けてください。大きすぎると作動不良の原因となり、締め付けトルクの不足の場合は、位置のずれや落下の原因となります。

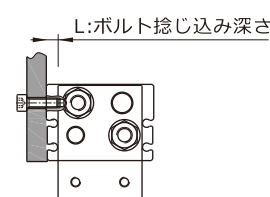
L:ボルト捻じ込み深さ



上面ネジ穴での据え付け



上面貫通穴での据え付け



側面に据え付け形

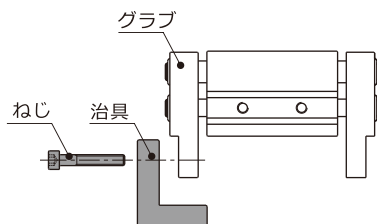
内径	使用ボルト規格	最大締付トルク(N.m)	ボルト最大捻じ込み深さL(mm)
10	M4×0.7	2.1	8
16	M5×0.8	4.3	10
20	M6×1.0	7.3	12
25	M8×1.25	17.7	16
32	M8×1.25	17.7	16

内径	使用ボルト規格	最大締付トルク(N.m)
10	M4×0.7	2.1
16	M5×0.8	4.3
20	M6×1.0	7.3
25	M8×1.25	17.7

内径	使用ボルト規格	最大締付トルク(N.m)	ボルト最大捻じ込み深さL(mm)
10	M4×0.7	1.4	5
16	M5×0.8	2.8	7
20	M6×1.0	4.8	7
25	M8×1.25	12	7
32	M8×1.25	12	10

6. フィンガ金具の取り付け方法:

ピストンロッドに傷をつけますと、パッキン類の損傷を受けるより、作動不良やエア漏れのことをしないように、ハンドアタッチメントを取付の時、ピストンロッドを引込んだ状態で行ってください。

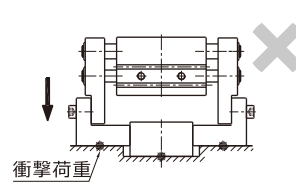
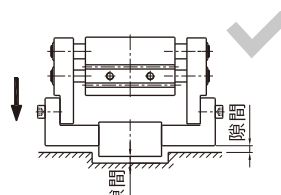
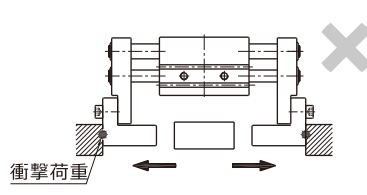
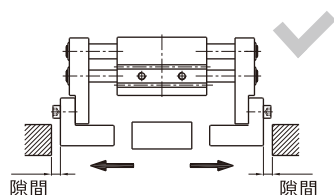


内径	使用ボルト規格	最大締付トルク(N.m)
10	M4×0.7	1.4
16	M5×0.8	2.8
20	M6×1.0	4.8
25	M8×1.25	12
32	M10×1.5	24

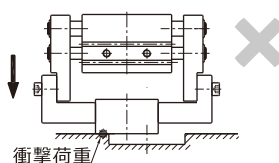
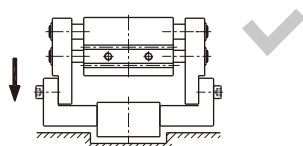
7. 外部からの力はフィンガに掛っていないことを確認します。横向負荷がフィンガに掛かることにより、衝撃性負荷が出て来てフィンガの揺動及び破損を及ぼします。隙間を作って、エアハンドのストロークエンドにワークと金具にぶつからないようにお願いします。

7.1. フィンガ全開位置のストロークエンド

7.2. フィンガの開閉ストローク



8. ワークの差し込み動作をする場合に、中心線の同軸からフィンガーがずれた際、正常に動作しません。テストをする時は、必ず手動動作及び使用圧力を降下させ、安全かつ衝撃など無いことを確認します。



9. フィンガの開閉速度が必要以上に速くならないように調整してください。

10. エアハンドの隙間や動作範囲には身体の一部が入らないようにしてください、且つ他の物を置かないでください。

11. エアハンドを取り外す場合に、ワークをが無いことを確認してから、圧縮空気を排気して、外してください。